



平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年4月10日

上場会社名 シグマ光機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7713 URL http://www.sigma-koki.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菊池 健夫 TEL 03-5638-8221
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績（平成28年6月1日～平成29年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	5,831	3.5	665	7.4	754	7.9	478	3.3
28年5月期第3四半期	5,632	13.1	619	58.5	698	49.1	463	68.2

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 548百万円 (34.6%) 28年5月期第3四半期 407百万円 (△29.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	63.58	—
28年5月期第3四半期	61.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第3四半期	14,710	11,980	81.1	1,584.04
28年5月期	14,347	11,673	81.0	1,543.43

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 11,931百万円 28年5月期 11,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年5月期	—	17.00	—	—	—
29年5月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成29年5月期年間配当金の内訳 第2四半期末 記念配当2円、期末 記念配当2円

3. 平成29年5月期の連結業績予想（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	2.5	780	△1.3	860	△1.7	565	△5.4	75.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期3Q	7,811,728株	28年5月期	7,811,728株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	279,372株	28年5月期	279,372株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期3Q	7,532,356株	28年5月期3Q	7,532,379株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。又、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済においては、米国経済は雇用・所得環境の改善、設備投資の持ち直し等を背景に回復基調で推移いたしました。欧州経済は、先行きに不透明さは残るものの、内需が牽引する形で底堅く推移いたしました。中国経済は、緩やかな減速基調で推移いたしました。一方、わが国経済においては、個人消費は力強さを欠きながらも、輸出主導で国内生産活動や設備投資に持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループにおいては、大学・国立研究開発法人向け研究開発分野においては、年度末に向け研究開発予算の執行に活発な動きが見られ、光学要素部品の需要は堅調に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、国内・アジア地域のスマートフォン等の携帯端末市場や自動車の車載市場に関連する半導体・電子部品業界や、有機ELへの移行のほか液晶パネルの一部大型化が進むFPD業界等においては設備投資に活発な動きが見られ、組込み用光学要素部品や光学システム製品の需要は堅調に推移いたしました。米国地域では、バイオ業界・医療業界向けや半導体業界向けの組込み用光学要素部品の需要は堅調に推移いたしました。又、欧州地域では、大学・官公庁向け研究開発分野及び産業分野向けの光学要素部品の需要は弱含みで推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、光学設計、機械加工、自動制御、電気回路等の中核技術の複合・融合した製品開発の強化、耐環境性や高安定性等を備えた高付加価値製品の販売促進、ワンストップでのソリューション提案の強化、適正な納期・価格・品質によるお客様満足度の最大化に注力いたしました。又、引き続き生産コストの削減や全般的な経費削減に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は58億3千1百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益6億6千5百万円（前年同期比7.4%増）、経常利益7億5千4百万円（前年同期比7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億7千8百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりでございます。

①要素部品事業

当事業においては、国内の大学・国立研究開発法人向け研究開発分野では、年度末に向けて研究開発予算の執行が進み、需要は堅調に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野の製造・検査装置組込み用では、国内における研究開発投資や設備投資に回復の動きが見られた結果、需要は堅調に推移いたしました。国内・アジア地域のスマートフォン等の携帯端末市場や自動車の車載市場に関連する半導体・電子部品業界向けや、有機ELへの移行のほか液晶パネルの一部大型化が進むFPD業界向けでは、レーザ加工機・検査装置への組込み用自動位置決め製品及び光学素子製品の需要が堅調に推移いたしました。米国地域を中心にバイオ・医療業界向けや半導体業界向け、光計測業界向けの組込み用光学基本機器及び光学素子製品の需要は堅調に推移いたしました。又、欧州地域の研究開発分野及び産業分野向けの光学素子製品の需要は弱含みで推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は49億5百万円（前年同期比2.0%増）となり、営業利益は10億9百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

②システム製品事業

当事業においては、民間企業向け研究開発分野では、国内産業分野における研究開発投資・設備投資に回復の動きが見られ、需要は堅調に推移いたしました。産業分野では、国内・アジア地域を中心に、スマートフォン等の携帯端末市場や自動車の車載市場に関連する半導体業界向けや、有機ELへの移行のほか液晶パネルの一部大型化が進むFPD業界向けのレーザ加工機・検査装置への組込み用レンズユニット等の光学ユニット製品の需要は堅調に推移いたしました。バイオ業界向けは、光学測定・分析装置製品や観察光学系システム製品の引き合いが緩やかながら増加傾向にあります。又、欧州地域の研究開発分野向けの光学ユニット製品の需要は弱含みで推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は9億4千5百万円（前年同期比13.6%増）となりましたが、営業損失7百万円（前年同期は営業利益6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.9%増加し、87億1千8百万円となりました。これは、有価証券が3億6千9百万円、受取手形及び売掛金が2億3千2百万円並びに電子記録債権が1億2千4百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.5%減少し、59億9千2百万円となりました。これは、投資有価証券が8千2百万円増加し、投資その他の資産の「その他」が2億9千8百万円、機械装置及び運搬具が3千6百万円、建物及び構築物が3千3百万円減少したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、147億1千万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、17億2千8百万円となりました。これは、賞与引当金が1億7百万円増加し、流動負債の「その他」が1億3千9百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.1%増加し、10億1百万円となりました。これは、長期借入金が8千2百万円増加したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、27億3千万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、119億8千万円となりました。

自己資本比率は、81.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月26日付にて公表いたしました業績予想から修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,875,198	2,907,660
受取手形及び売掛金	1,897,027	2,129,854
電子記録債権	172,414	296,630
有価証券	672,599	1,042,078
商品及び製品	946,472	894,664
仕掛品	277,336	283,795
原材料及び貯蔵品	962,718	933,920
繰延税金資産	123,040	162,661
その他	85,274	71,626
貸倒引当金	△4,243	△4,354
流動資産合計	8,007,838	8,718,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	934,438	900,726
機械装置及び運搬具(純額)	446,370	409,867
土地	1,321,741	1,321,741
その他(純額)	135,156	116,023
有形固定資産合計	2,837,706	2,748,358
無形固定資産		
その他	173,108	167,829
無形固定資産合計	173,108	167,829
投資その他の資産		
投資有価証券	596,962	679,084
繰延税金資産	150,015	133,938
投資不動産(純額)	2,049,454	2,022,830
その他	545,785	247,778
貸倒引当金	△13,467	△7,371
投資その他の資産合計	3,328,751	3,076,260
固定資産合計	6,339,566	5,992,447
資産合計	14,347,405	14,710,985

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	927,586	942,173
短期借入金	183,000	177,200
未払法人税等	184,129	181,104
賞与引当金	6,334	113,382
役員賞与引当金	13,750	—
受注損失引当金	6,924	4,194
その他	450,591	310,939
流動負債合計	1,772,316	1,728,995
固定負債		
長期借入金	66,000	148,300
退職給付に係る負債	624,885	642,149
その他	210,711	210,899
固定負債合計	901,597	1,001,348
負債合計	2,673,913	2,730,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,154	3,092,154
利益剰余金	5,914,736	6,152,658
自己株式	△204,094	△204,094
株主資本合計	11,426,144	11,664,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,560	137,018
為替換算調整勘定	160,511	187,345
退職給付に係る調整累計額	△62,500	△56,810
その他の包括利益累計額合計	199,570	267,553
非支配株主持分	47,776	49,021
純資産合計	11,673,492	11,980,640
負債純資産合計	14,347,405	14,710,985

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	5,632,450	5,831,448
売上原価	3,372,034	3,589,144
売上総利益	2,260,415	2,242,304
販売費及び一般管理費	1,640,603	1,576,747
営業利益	619,811	665,556
営業外収益		
受取利息	11,312	5,705
受取配当金	1,271	1,392
不動産賃貸料	118,212	76,382
持分法による投資利益	10,482	32,126
その他	17,128	31,079
営業外収益合計	158,407	146,686
営業外費用		
支払利息	2,817	1,820
不動産賃貸費用	60,518	55,925
その他	16,292	466
営業外費用合計	79,628	58,212
経常利益	698,590	754,030
特別利益		
固定資産売却益	—	70
特別利益合計	—	70
特別損失		
固定資産売却損	—	1,007
減損損失	2,064	—
特別損失合計	2,064	1,007
税金等調整前四半期純利益	696,525	753,093
法人税、住民税及び事業税	283,723	309,347
法人税等調整額	△53,932	△38,136
法人税等合計	229,791	271,211
四半期純利益	466,734	481,882
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,227	2,925
親会社株主に帰属する四半期純利益	463,507	478,956

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	466,734	481,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,024	35,458
為替換算調整勘定	△28,491	25,153
退職給付に係る調整額	2,013	5,690
その他の包括利益合計	△59,502	66,301
四半期包括利益	407,232	548,184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	406,823	546,939
非支配株主に係る四半期包括利益	408	1,245

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,807,566	824,883	5,632,450	—	5,632,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,015	6,890	7,905	(7,905)	—
計	4,808,581	831,773	5,640,355	(7,905)	5,632,450
セグメント利益	916,037	6,320	922,358	(302,546)	619,811

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△7,905千円、全社費用△294,640千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,888,637	942,811	5,831,448	—	5,831,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,889	2,296	19,185	(19,185)	—
計	4,905,526	945,108	5,850,634	(19,185)	5,831,448
セグメント利益(又は損失)	1,009,756	(7,394)	1,002,361	(336,805)	665,556

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△19,185千円、全社費用△317,619千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。